

乗務員指導・添乗指導

【本社営業所】

後藤 淳一（安全統括管理者）添乗指導歴 16 年

藤井 篤美（運行管理者）添乗指導歴 11 年

福留 昭弘（運行管理者）座学指導担当

松園 雄一（運転士）実技指導担当


竹之内 雅喜（運転士）実技指導担当

事業者名 さつま交通観光株式会社

(旅客自動車運送事業運輸規則第38条第2項に基づく)

特別指導記録 <初任運転者>

適性診断の結果が判明した後1か月以内に実施する。適性診断の結果を踏まえ、加齢に伴う身体機能の変化の程度に応じた安全な運転方法等について運転者自ら考えるよう指導する。

所属営業所	本社営業所	氏名	宮脇 義博
		(生年月日)	昭和40年 4月 12日 (60 才)
実施月日	令和8年4月8日	実施時間	10時 00分 ~ 11時 00分
実施場所	本社営業所	指導者	氏名 福留 昭弘 
適齢診断受診日	令和8年 4月 3日		
指導内容	(宮脇 義博)さんの 適性診断(初任診断) 結果に基づく指導教育 (レーダーチャート参照)		

2026/4/3に適正診断(初任診断)を受けた後、1か月以内に内容結果を踏まえて加齢・身体機能の変化等の程度に応じた指導を実施した。

①良い点が認められた項目

気持ちのおおらかさ、動作の正確さ、危険感受性、感情の安定性、他人に対する好意、協調性で

良い結果が出てます。

全体的に非常に良い結果となっております。


運転では「ゆとり」を持った「おおらかな」気持ちが大切です。その気持ちを持ち続けるようにして下さい。

②運転時に注意していただきたい点

貸切バス運転者として初めての仕事になります。多くのお客様を安全に目的地までご案内する為に交通ルールを十分厳守して安全運転に努めていって下さい。

想定してない状況での運行になる場合もあると思いますが焦らずに状況判断するようにして下さい。

本人所見

適性診断結果を基に、指導を受けました。判断・動作のタイミングが41点であり注意を維持しつつ安全な運転を行います。加齢による変化を理解し、その点に配慮し、早目の対応を心がけるようにしたい。運転中、気持ちにゆとりをもてるように、日常生活にも気を付け、精神的に安定した状態で運転できるように心がけていきたい。運転時は、周囲の状況に注意し、想定した走行ができ、交通法規を遵守し、安全運転に努めていくことを確認した。 宮脇 義博 

- 1 使用したテキスト、資料の写しを添付した本記録票及びドライブレコーダーの記録(習得の程度の確認をドライブレコーダーの記録により行った場合)を3年間保存すること。
- 2 具体的な内容を乗務員等台帳に記載するか、又は乗務員等台帳に実施年月日を記載した上でこの書面を台帳に添付すること。
- 3 指導実施後、2週間以内にドライブレコーダーの記録(15分程度)又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行うこと。なお、ドライブレコーダーの記録で確認する場合は、高速道路、坂道、隘路、市街地、駐車場における記録を確認するよう可能な限り努めること。

貸切バス (初任者)・準初任者) 特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 2日 (木)	指導時間	座学 3 時間
			実技 時間
実施場所	本社事務所	指導講師	福留 昭弘

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

- 座学 (①から⑥合計10時間以上) 実技指導 (20時間以上)
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項 (シートベルトの着用徹底等)
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技 (当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導) ※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

1. 事業用自動車の安全な運行に関する基本的な事項

- ①バスを運転する場合の心構え
- ②バス乗務心構え等動画による指導
- ③運行に関しての安全運行及び旅客の安全を確保するための行動等動画による指導
- ④各種法令等の規定 (運転者が遵守しなければならない事項等) 動画にて確認、指導

2. 事業用自動車の構造上の特性と日常点検等の方法について

日常点検については年間整備点検計画に基づいて確実に実施しているが、当日運行する前に確実に運行前点検を実施し、記録することを指導。

異常等が発生した場合には運行に支障がないような状況にしてから出庫するように指導。

車両は車種、年式等によって構造が異なる場合があるため、それぞれを熟知するよう実際に各車両を整備管理者のもと確認

3. 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項

- ・ 運行に入る前に必ずシートベルトの着用アナウンスを確実に実施すること。(車内事故を防ぐため運行中は席の移動等を控えるように合わせてアナウンスする)
- ・ 安全運行に関する動画による指導

日常点検の重要性と旅客の安全意識の醸成も適宜行うように指導し、確保に行っていく。

- ※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダの記録等を添付すること。ドライブレコーダの記録は3年間保存
- 2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付
- 3 指導実施後、ドライブレコーダの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
宮脇 義博							

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 7日（火）	指導時間	座学 3 時間
			実技 時間
実施場所	本社事務所	指導講師	福留 昭弘 

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

- 座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導）
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

危険運転の予測及び回避（同一車種の車両を用いて制動装置の操作方法を指導）

① 高齢者及び子供等の行動予測が難しい状況での運行は最善の注意と予測が必要。

② 悪天候および夜間など状況に応じての運転について

③ 緊急時の対応

停止表示器材の取り扱い、緊急事対応用品の使用法等

運転支援装置の機能を理解し安全運転に生かす

- ・車線逸脱警報装置について
- ・衝突防止警報装置について

ASV車両の適切な運転方法

ドライブレコーダー画像での運転特性の把握と是正

運転中の周囲の状況確認を徹底し、危険予測を行うことの重要性を学んだ。漫然運転とやら
はよくないと思った。


※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
宮脇 義博							

貸切バス (初任者)・準初任者) 特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 8日 (水)	指導時間	座学 3 時間
			実技 時間
実施場所	本社事務所	指導講師	福留 昭弘 

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

- 座学 (①から⑥合計10時間以上) 実技指導 (20時間以上)
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項 (シートの着用徹底等)
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技 (当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導) ※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

- ⑤ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ドライブレコーダー画像での運転特性の把握と是正
※モビポケ教材資料での教育含む

ドライブレコーダー画像と多数視聴し、事故のヒューマンエラーを把握する所不明、と感じた。
緊張感を持って安全運転に努めた。

※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存
2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付
3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
宮脇 義博							

貸切バス (初任者)・準初任者) 特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 10日 (金)	指導時間	座学 2 時間
			実技 時間
実施場所	本社事務所	指導講師	福留 昭弘 

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

- 座学 (①から⑥合計10時間以上) 実技指導 (20時間以上)
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項 (シートベルトの着用徹底等)
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技 (当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導) ※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

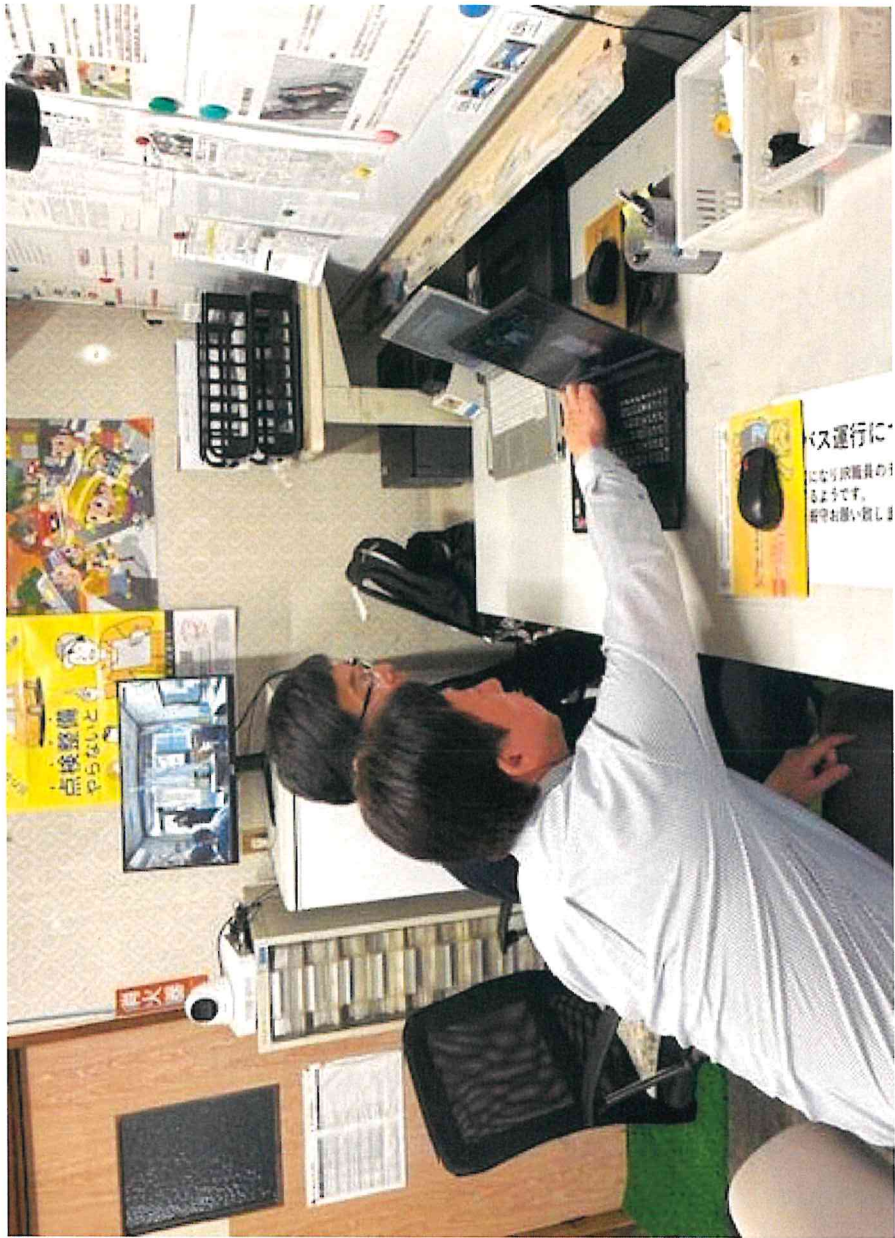
- ⑤ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ドライブレコーダー画像での運転特性の把握と是正
※モビポケ教材資料での教育含む

自身の運転状況をドライブレコーダーで確認し、早めの減速や見えていない運転で急ブレーキがかかる「急ごっこ」のない安全運転に努めたい。



※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は 3 年間保存
2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付
3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
宮脇 義博							

ドライブレコーダー映像による教育（運行管理者による教育）



貸切バス（**初任者**・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 3日（金）	指導時間	座学 時間
			実技 3時間45分
実施場所	牧之原特別支援学校 スクールバスコース	指導講師	松園 雄 
【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。 <input type="checkbox"/> 座学（①から⑥合計10時間以上） <input type="checkbox"/> 実技指導（20時間以上） <input type="checkbox"/> ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む） <input type="checkbox"/> ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法 <input type="checkbox"/> ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートの着用徹底等） <input type="checkbox"/> ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導） <input type="checkbox"/> ⑤ ASV車両の適切な運転方法 <input type="checkbox"/> ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行			
【準初任運転者指導項目】 <input type="checkbox"/> 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施 ※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する			
【実施した具体的な指導内容】 実施時間 13：40～17：25 実施ルート 本社車庫～牧之原特別支援学校～加音ホール～加治木本町～こどもセンター（霧島市）～ 牧之原特別支援学校～加音ホール～本社車庫 ※ 牧之原特別支援学校の新規路線（木田コース） 使用車両 大型バス（鹿児島200か2054） ※ 実技指導後にドライブレコーダー映像にて指導1時間			
※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存 2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付 3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う			
受講者名(必須)	印	受講者氏名	印
宮脇 義博			

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 4日（土）	指導時間	座学 時間
			実技 6時間48分
実施場所	牧之原特別支援学校 出水特別支援学校 スクールバスコース	指導講師	竹之内 雅喜（午前） 松園 雄一（午後）

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）

- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

実施時間 9：00～17：35

実施ルート 本社車庫～加音ホール～加治木本町～こどもセンター～牧之原特別支援学校～車庫（休憩）
車庫～吉松体育館～出水特別支援学校～いずみ物産館～車庫

使用車両 中型バス（鹿児島22き972）

※実技指導後にドライブレコーダー映像にて指導1時間


※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付


3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
宮脇 義博							

貸切バス（**初任者**・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 6日（月）	指導時間	座学 時間
			実技 6時間17分
実施場所	牧之原特別支援学校 （木田線・横川線）	指導講師	松園 雄一 竹之内 雅喜
【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。 <input type="checkbox"/> 座学（①から⑥合計10時間以上） <input type="checkbox"/> 実技指導（20時間以上） <input type="checkbox"/> ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む） <input type="checkbox"/> ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法 <input type="checkbox"/> ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等） <input type="checkbox"/> ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導） <input type="checkbox"/> ⑤ ASV車両の適切な運転方法 <input type="checkbox"/> ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行			
【準初任運転者指導項目】 <input type="checkbox"/> 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施 ※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する			
【実施した具体的な指導内容】 実施時間 9：00～17：50 実施ルート 本社車庫～加音ホール～加治木IC＜高速＞隼人東IC～こどもセンター～牧之原特別支援学校～本社車庫（休憩）横川駅～日当山小北～清水～牧之原～清水～牧園～横川駅～車庫 使用車両 中型バス（鹿児島22き972） ※実技指導後にドライブレコーダー映像にて指導1時間			
※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存 2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付 3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う			
受講者名(必須)	印	受講者氏名	印
宮脇 義博			

貸切バス（**初任者**・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 7日（火）	指導時間	座学 時間
			実技 2時間59分
実施場所	加治木・牧之原	指導講師	竹之内 雅喜 

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）

- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導）
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

実施時間 13：55～17：15

実施ルート 本社車庫～加治木本町～加治木IC＜高速＞隼人東IC～こどもセンター～牧之原特別支援学校～縄文の森～本社車庫

使用車両 中型バス（鹿児島22き972）

※実技指導後にドライブレコーダー映像にて指導30分時間

※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
宮脇 義博							

貸切バス (初任者)・準初任者) 特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 8日 (水)	指導時間	座学 時間
			実技 3時間10分
実施場所	高千穂・国分市内	指導講師	竹之内 雅喜 

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

- 座学 (①から⑥合計10時間以上) 実技指導 (20時間以上)
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項 (シートベルトの着用徹底等)
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技 (当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導) ※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

実施時間 13:35~17:00

実施ルート 本社車庫~高千穂~ユメミガオカ~下井海岸~鹿児島空港~本社車庫

使用車両 中型バス (鹿児島22き972)

※実技指導後にドライブレコーダー映像にて指導30分時間

- ※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存
- 2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付
- 3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
宮脇 義博							

貸切バス（**初任者**・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	福留 昭弘
実施年月日	令和 8年 4月 9日（木）	指導時間	座学 時間
			実技 5時間35分
実施場所	鹿児島市内	指導講師	竹之内 雅喜 

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

- 座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導）
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

実施時間 9：15～15：25
 実施ルート 本社車庫～マインポート～鹿児島中央駅西口～鹿児島北ふ頭～牧之原特別支援学校～本社車庫
 使用車両 中型バス（鹿児島200か2623）

※実技指導後にドライブレコーダー映像にて指導30分時間

- ※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存
 2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付
 3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
宮脇 義博							